

ソーシャルワーク特論演習 評価ルーブリック

評価項目	A (25点)	B (20点)	C (15点)	D (1つでも該当すれば不合格)
ソーシャルワーク特論演習に主体的に取り組むことができる。 (A-1)	教員の助言を参考に、ソーシャルワーク特論演習に主体的に取り組むことができる。	教員の指導のもと、ソーシャルワーク特論演習に主体的に取り組むことができる。	教員の手厚い指導のもと、ソーシャルワーク特論演習に主体的に取り組むことができる。	ソーシャルワーク特論演習に主体的に取り組むことができない。
定性的(質的)研究法とソーシャルワーク実践研究との関係について理解できる。 (A-1)	教員の助言を参考に、定性的(質的)研究法とソーシャルワーク実践研究との関係について理解することができる。	教員の指導のもと、定性的(質的)研究法とソーシャルワーク実践研究との関係について理解することができる。	教員の手厚い指導のもと、定性的(質的)研究法とソーシャルワーク実践研究との関係について理解することができる。	定性的(質的)研究法とソーシャルワーク実践研究との関係について理解することができない。
定性的(質的)研究法について理解できる。 (A-1)	教員の助言を参考に、定性的(質的)研究法について理解することができる。	教員の指導のもと、定性的(質的)研究法について理解することができる。	教員の手厚い指導のもと、定性的(質的)研究法について理解することができる。	定性的(質的)研究法について理解することができない。
定性的(質的)研究法によるデータ収集及び分析方法を習得できる。 (A-1)	教員の助言を参考に、定性的(質的)研究法によるデータ収集及び分析方法を習得することができる。	教員の指導のもと、定性的(質的)研究法によるデータ収集及び分析方法を習得することができる。	教員の手厚い指導のもと、定性的(質的)研究法によるデータ収集及び分析方法を習得することができる。	定性的(質的)研究法によるデータ収集及び分析方法を習得することができない。